

令和3年度入試 小6Jクラス 受験体験記

塾で学習しておく、学校の勉強より早く、詳しく知ることができたので役に立ちました。また、その学んだことに興味を持つことができ、塾に通い始める前より勉強ができるようになったと思います。塾の説明は、知らないことやわからないことを無くしてくれるので、塾に通ってよかったと思いました。

塾の一番の思い出は、勉強を遅くまで残って頑張ったことで、受験を悪い印象で終わらせずに済んでよかったです。

これからも受験勉強を良い経験として活かし、塾で学んだいろいろなことを将来につなげていきたいと思っています。

(H・D)

塾で頑張ったことは次のようなことです。

- ①漢字や計算問題で点を落とさないように練習した。
- ②入試問題をたくさん解いた。
- ③塾がない日でも塾へ行って勉強した。
- ④授業が終わっても残って勉強した。
- ⑤家と塾をあわせて1時間以上は勉強した。

(S・O)

国算理社どれか1つの科目に集中することで、その科目を好きになることができます。また、習ったことを復習することで、その内容をずっと覚えることができると思います。

勉強を頑張っていると、先生からいつかご褒美があるかもしれません。良い先生たちですから、先生を信じて勉強を頑張りましょう。そして受験に合格できるようにしましょう。そのためには、受験の1か月くらい前から、ゲームなど勉強の邪魔になるようなものをいったん周りから取り除くとよいと思います。

(H・R)

私が受験勉強をする上で大切だと思うことは5つあります。

1つ目は、実力テスト時に配られる『実力教科問題』を解くことです。少し難しめの問題なので間違える問題も多くあると思いますが、それらの問題を1つずつわかるまで解くことが大切です。

2つ目は、家で入試問題を解くときにタイマーで時間を計ることです。何分も時間をかけすぎると、入試本番で時間が足りなくなります。じっくりやることも大切ですが、入試が近くなるにつれて解く時間も意識してください。

3つ目は、勉強をする習慣を身につけることです。勉強する癖がつくと、自然と机に向かえるようになります。1日最低2時間は勉強をしたほうがよいです。

4つ目は、入試直前にあせらないように、毎日コツコツと勉強することです。「何をすればいいの？」と思うかもしれませんが、過去問を解くことをオススメします。

最後は、これが一番大切ですが、宿題やテスト勉強などやるべきことを普通にしっかりとこなすことです。これをやっていれば合格できる可能性は高くなります。間違えた問題は必ず解きなおして、わかる問題を増やしていきましょう。

(R・S)

週に3回、各約2時間の塾は大変だったけど、入試に合格してよかったです。ただ、それで気を抜くことなく中学校生活も頑張りたいです。私は文系科目はある程度できますが、理系科目がかなり苦手なため、中学1年生のうちに改善していきたいと思っています。

受験勉強で大変だったのは、学校と塾の宿題の両立です。学校の宿題もある中で、受験勉強をしていくことは大変でした。周りの人と比べて、私はコツコツやるのが苦手だったので、お母さんにもたくさん怒られました。なので、中学校では、テスト期間などは真剣に取り組んで、今度こそそうならない

ようにしたいです。

次の受験生も勉強を頑張って、自分の目指す学校に行けるようになってほしいです。そして、その先にある夢をかなえられるようになって欲しいです。

(A・M)

学校で友達が困っているとき、僕が教えてあげると「ありがとう」と言ってくれたので、その点で塾の学習が非常に役立ちました。「ありがとう」と言われると、心が温かくなりました。こういうことを言ってもらえるようになったのは、塾の先生のおかげです。ありがとうございました。

塾での思い出は、クラスのみんなでときどき笑いながら、宿題の答え合わせをしたり、新しいことを学んだりできたことです。このおかげで、僕は合格できたのかもしれませんが、入塾したときは、環境になじめるかがいつも不安でしたが、今のように笑いながら学んでいます。僕は、今の環境で勉強をすることが好きだし、もっと今の環境が続いてほしいです。ここで学んだことを忘れてたくありません。

来年度の受験生へのメッセージです。僕は、先生が良いやり方で教えてくれたので、合格することができました。皆さんも、毎日勉強したことに対して誇りを持ち、受験に臨んでほしいです。頑張って合格してください。

最後に先生方へのメッセージです。五年生のときからお世話になりました。そして、六年生の途中から毎日お世話になりました。先生方が教えてくれたので、合格することができました。感謝で胸がいっぱいです。中学校へ行っても、僕のことを支えてください。

(R・Y)

僕にとって、この塾に通って良かったと思うことが5つあります。

1つ目は、やはり勉強ができるようになったということです。それまでは、生活やスポーツに対して何も目標を持たずに暮らしていました。ただ、勉強

では「受験合格」という1つの目標に向かって一生懸命努力をし、結果はどうであれあきらめない自信が付き、人間として成長することができました。

2つ目は、1つのことをやりきることができたことです。僕は途中で、受験は苦しいからやめようと思ったことがありました。しかし、最後までやり抜くことで、何でもやり抜くことができる自分になれると思いました。なので、結局は受験をし、そういう自分に一步近づけたと思います。

3つ目は、学校の勉強やテストに対して努力ができるようになったことです。それまでは、目の前の勉強だけに一生懸命で、予習や復習を考えたことはありませんでした。しかし、塾へ通うようになり、学校の勉強に後れを取ることもなくなり、むしろリードできるようになりました。そして、テストでよい結果が出るとすごくうれしかったです。

4つ目は、勉強を好きになることができたことです。入塾するまでは、あまり勉強は好きではありませんでした。でも、勉強を一生懸命頑張って成果を上げたことで、勉強を好きになれたと思います。

最後は、塾で勉強したことは中学校でも役立つので、受験クラスに在籍してよかったということです。中学受験が終わっても、その先には高校受験があります。その高校受験に向かって勉強するときも、受験勉強で身につけた知識は必ず役立つと思っています。

来年度の受験生の皆さん、自分を信じて、「受験合格」という1つのビジョンを持って頑張ってください。

(E・D)

塾での学習で役に立ったことは、家庭学習のときわからなかったことを塾の先生に聞いて、教えてもらうことで、今までわからなかった問題などがわかるようになったことです。

家庭学習で役に立ったことは、塾で教えてもらった後に今までわからなかった問題に挑戦し、できるようになるまで頑張れるようになったことです。

光優塾に通ったことで、学校の友達がわからない

ところを教えることができるようになったので、入塾してよかったです。(A・K)

私が入塾して頑張ったことは、わからない問題を本などで徹底的に調べたことです。そして、新しいことを習ってすぐ覚えているときに宿題をこなしたことです(出された当日か次の日)。これらを続けていると、わからなかったことがわかるようになっていたり、以前解いた問題に関連付けられるようになっていたりしました。他にも、自分の考えを明らかにすることができたり、自分の答えに自信を持てるようになっていたりしました。

塾での思い出は、冬休みのときに、友達と一緒に塾で昼ご飯を食べて勉強したことです。友達と「ここ難しかったよね」「ここどうやって解いた？」など話し合ったり、相談したりしました。他の思い出は受験当日のことです。その日は緊張で心臓がバクバクして、早く終わってほしいと願っていました。でも、問題は集中して解けたので、自分なりに手ごたえがあっただけ良かったです。

来年の受験生へのメッセージです。最後までやり抜いて、自分なりに勉強を頑張ってください。そして、自分に自信を持って受験に臨んでください。

(R・H)



私が受験勉強で心掛けたことは、わからない問題を自分一人でなんとかしようと思わないことです。その理由は2つあります。

1つ目は、わからない問題にあまりに時間を使いすぎると、他の問題に使える時間が減ってしまうからです。そういった問題は一人でためこまずに、先生や友達に質問するようにしました。

2つ目は、受験勉強で扱う問題はレベルが少し高くて、家族に聞いても解けない問題が多かったからです。解けないからといってそのままにしておく、と、どんどん時間だけが過ぎていってしまいます。なので、わからない問題が出てきたら早めに先生たちに質問して、解決するようにしました。

(A・K)

僕は去年の2月から塾に入りました。始めは学校の授業より難しく、宿題もなかなか進みませんでした。しかし、学校の勉強より難しいので、新しいことを学ぶのが面白く、問題を考えるのも面白かったです。塾に慣れていくと、だんだんと解ける問題が増えてきて、さらに面白くなってきました。中学校の過去問を解きだすと、時間内にできるようにするように、隣に時計を置き、時間を気にしながら解いたり、点数を気にしたりしました。

時間を気にしだすと、1つの問題に時間をかけないよう問題をとばしながら解いて、全ての問題が解けるようにしたり、問題を速く解くようにしたりしたので、問題を解くのが難しくなりました。問題をとばす判断をするのも、あと少し考えれば解けそうだけど、解くのに時間がかかりそうで他の問題を解く時間がなくなりそうだったりして、難しかったです。

始めは、難しいけど、復習もしっかりとおさえながら、勉強を頑張ってください。

(G・N)

私は、6年生の1学期から入りました。

文章を基本的に取り組みましょう。

体積や速さを学ぶと良いです。体積では、水の入った容器の中に棒を入れる問題があります。

計算問題がたくさんでいるので、計算を間違わないようにしましょう。

酸素の作り方と二酸化炭素の作り方を覚えておく
といいと思います。

見直して、どこがどう間違っているのかを、見直すことが大事です。

受験頑張ってください。

(Y・M)

僕は、3年の3学期に入塾した瞬間4年の学習をさせられて混乱したけど、2週間ぐらいで慣れて楽しかったです。5年になって、友達と会ってもっと楽しくなりました。今は中学校は違うけど、塾で会って楽しくしています。6年になって、いっきに4人増えて1人は同じ小学校の子で、同じ中学を受けて、どちらも受かりました。やってみても、市立中学校よりは簡単でした。市立の過去問を解いていてよかったです。最初にいた友達と違う中学校でも、合格できたことがなによりうれしいです。僕のように、後半に頑張らず、最初から頑張ったほうがいいです。

(R・U)

私は、6年生の夏休みに入塾しました。最初は、勉強の内容が全く違い、とても大変でした。

でも、日に日に慣れてきて、自分に自信が持てるようになりました。

私が塾の学習で役に立ったことは、学校の学習です。まだ習っていなかった所もとてもすらすらできるようになりました。

次に、塾でとても頑張り、合格するとその頑張った分、うれしくなります。だから、私は、分からなくても、すぐ諦めず、挑戦し、1秒1秒とても大切にしようと思いました。

来年度の受験生の皆さん、塾や勉強はとても大変

です。諦めたくなることもあると思います。でも大丈夫。必ず努力は報われます。保護者の皆様も温かい目で見守り、応援してあげてください。

(M・H)

僕は、5年生で入塾しました。始めは、理科と社会の授業でした。全く分からなかったです。そして、次の授業は算数でした。これもやったことのない問題の説明がされ、始めは何がなんだか分かりませんでした。でも、授業を受けるときに、しっかりノートをとって、それを解いていけば、自然に出来るようになりました。社会も理科も、初めから、自力でやる必要はありません。調べながらやりましょう。6年生になったときの算数の勉強は、方程式を会得しましょう。そしたら、塾の算数もすらすら解けて、入試にも役立つと思います。

受験は、勉強が大変です。でも、挫けず、自分の一番入りたい学校の受験勉強をしましょう。

(T・A)

